

第68回登別市市民自治推進委員会 育み部会議事録

(敬称略)

開催日時	令和5年1月30日(月) 18時00分～
開催場所	アーニス 2階 あえる STATION
出席者	(部会長) 神谷博達 (部会員) 仲川弘誓、合田美津子、佐藤文子、大坂倫一 (読書活動家) 松山哲男、高木三千子、武者正樹、河上邦子 (庁内委員) 館下貴子 (事務局) 大越智輝、佐々木健、相馬杏
欠席者	(副部会長) 大熊龍也 (部会員) 磯田大治 (読書活動家) 須藤和恵、松平孝子 (庁内委員) 古村 健
議題	育み部会絵本コーナーについて
配布資料	第68回「育み部会」資料、(部会長作成) 子供の読書活動推進に関する有識者会議論点まとめ(案) (部会員作成) 来場者アンケート・担当者アンケート(事務局作成) 絵本コーナー開催時の写真(事務局作成)

※読書活動家の方々にもご参加いただき、育み部会絵本コーナーについて協議した。

○会議の要点

1 本日の協議

(1) 第12回絵本コーナー「ブックファームあーにす」の振り返り

- ・1月21日開催の絵本コーナー当日は、大雪ということもあり、来室親子2組、成人単独(大人のための読み聞かせ)来場者は3名だった。
- ・今回の読み聞かせ担当は「おはなしぼけっと」
- ・第12回絵本コーナーでは、初めての試みの「大人のための読み聞かせ」を行った。大人への読み聞かせを行う際に、大人と子どもの引き離しは成功した。
- ・「登別朗読ボランティアの会」の方1名に、絵本と紙芝居の読み聞かせをしていただいた。
- ・当日は3冊の絵本と1つの紙芝居の読み聞かせを実施した。
- ・実施前の呼びかけについては、新たに乳幼児健診にてリーフレットの配布を依頼した。
- ・アーニス館内での呼びかけについては、当日の大人への読み聞かせを実施中に、スタッフが来室している子どもを親から引き離して託児のようなことをしてい

たため、呼びかけまでは実施できなかった。

- ・滞在時間を延ばす工夫については、黒髭危機一髪などのおもちゃを使用したり、来場された幼児に個別の絵本の読み聞かせを行った。
- ・大人の読み聞かせに来場された方は、熱心に読み聞かせを聞いていただいていた。

○「大人のための読み聞かせ」の手応えについて（担当者）

- ・当日は大雪のため、お願いしていた読み手が参加できないということがあった。また、読み聞かせを予定していた方が、初めての場所に不安を持ち、読み聞かせを実施することができないということもあった。
- ・換気の音や館内放送等により、静かな中での読み聞かせとはならなかった。広い場所での読み聞かせには工夫が必要だと感じた。
- ・絵本コーナーの回を重ねるごとに、図書館との違いを感じる。壁に黒い布を掛けるなど、場所・環境作りはできたと感じているが、読み聞かせの声が聞き手には聞こえていなかったのではないかと感じた。
- ・今回は、テーブルを挟んで聞き手と1人の読み手がいる形で実施したが、読み手側や隣などに他の読み手の方がいると安心して読み聞かせを行えるのではないかと思った。次回以降も工夫して取り組みたい。
- ・現在マスクを使用している読み聞かせになり、聞こえにくいことも考えられるので、マイクなどを使用することができるか検討してほしい。
- ・以前に高齢者施設で絵本の読み聞かせを実施したが、その時は普段読み聞かせを聞くことがない大人は、絵本の読み聞かせに抵抗があると感じた。

（意見）

- ・絵本の読み方については、自分の所属する団体では、絵本を読み聞かせるときに、聞き手と読み手が近づいて読み、一方的に読み聞かせを行うだけではなくて、問いかけをしたり、一緒に指で遊んだりしながら行っている。
- ・絵本の読み聞かせをするときに、会話などの音や音楽を使うこともやり方の一つだと思う。
- ・お年寄りの方々が絵本の読み聞かせに抵抗があるのではという話があったが、自分の団体ではコロナ禍前までは、高齢者施設などで読み聞かせを行っており、最近も施設の方から読み聞かせの打診があった。大人が絵本の読み聞かせに関心がないわけではないと思う。

（2）登別明日中等教育学校「図書局員」の参加について

- ・1月21日の絵本コーナーに、登別明日中等教育学校の図書局担当の方が参観された。生徒も参観予定であったが体調不良のため欠席。
- ・2月または3月の絵本コーナーには、図書局員の生徒と一緒に見学し、練習をして、読書活動家の方々と一緒に読み聞かせに参加したいと話していた。

- ・コロナ禍前までは、登別明日中等教育学校の図書局でも読み聞かせの活動を実施していたが、コロナで実施できず、現在は読み聞かせを行ったことがある生徒や職員もいないため、まずは参加し、ご指導をいただきたいとのことであった。
- ・登別明日中等教育学校の図書局が読み聞かせに参加する場合は、読書活動家の方々の前に行くか後に行くか検討する必要がある。

(3) スタンプの完成と作業について

- ・「ブックファームあーにす」のスタンプが完成したため、絵本にスタンプを押す作業が必要になるが、多人数の絵本があるためかなりの時間を要する。
- ・スタンプが1つしかなく、多数での作業は困難であるため、次回部会の開催前に、可能な方は1時間早く集まり作業するのはどうか。また、次回の絵本コーナー開催時の前後にも少しずつ作業を進めたいと考えている。(次回部会の開催日である2月20日(月)17:00より作業を行うこととなった)
- ・スタンプを押す場所については、絵本の始めの白いページに押すこととなった。

(4) その他

- ・登別明日中等教育学校の生徒に参加してもらおう中で、絵本の読み聞かせを生徒に教える場面があるかと思うが、読み聞かせの講習会などが必要であると思う。
- ・読み聞かせを行うと、お年寄りの認知症予防に良いという話を聞いたことがあり、実施している団体がある。絵本の読み聞かせについて、子どもだけではないというイメージを持ってもらえたら、ご協力をいただける方も増えるのではないかな。
- ・将来的には、市の認知症予防の担当部署とも連携し、認知症予防の活動に読み聞かせの活動させてもらおう、あるいは絵本コーナーでも認知症の予防の活動を行うことができれば、繋がりが広がるのではないかな。

(5) 今後の予定

- ・次回の第12回ブックファームあーにすは2月18日(土)10:00~12:00。

2 次回の育み部会について

日時：令和5年2月20日(月)18:00~

場所：アーニス2階 あえる STATION